

# 関川(光星高)予選通過

ボルダー ジャパン杯

スポーツクライミング  
ボルダー競技のジャパ



ンカップが31日、東京・駒沢屋内球技場で開幕し、男女の予選を行った。女子は昨年準優勝の関川

愛音(八学光星高)が124・8点で8位に入り、24位までの準決勝進出を果たした。

予選を通過した関川愛音(八学光星高)＝駒沢屋内球技場

女子は松藤藍夢(日大)、伊藤ふたば(デンソー岩手)、倉菜々子(新東工業)がノミミスで同率1位。男子は昨年の世界選手権を制した安楽宙斗(JSOL)がトップで初日を終えた。

最終日の1日は同会場で行った後、上位8人が決勝で頂点を争う。

久々の公式戦  
実力を発揮

(桑田友人)

〇：ボルダー競技の今季初戦となるジャパンカップで、関川愛音(八学光星高)は全5課題を完登。「ワールドカップ(W杯)に向けて調整している。ベストな状態ではな

い通過できた」と余裕を見せた。

昨年はこの大会で準優勝と好スタートを切り、W杯シリーズで初の表彰台、9月に世界選手権出場を果たすなど飛躍を遂げた。ただ、シーズンが長期に及んだことで精神的疲労が積み重なった。

選手権後は一度、競技から距離を置いたという関川。久しぶりの公式戦は、最後の課題で2度ミスするも修正してゴールに到達し、代表クラスの実力を発揮した。

翌日の準決勝に向けて「万全な状態で挑めるようにウォームアップから全力でやって、課題に取り組みたい」と力を込めた。